

「キャリア自律を後押しする機会」参加社員の声



リーダー職（40代）2017年にKUMONへキャリア入社
2024年度のキャリア関連研修に、研修生のメンター役として参加

■研修生との対話による「キャリア」の捉え方の変化

以前は、「キャリア」は具体的な役職や、転職／起業などの選択肢を指すものと考えていました。でも、研修を通じて「**キャリア**」とは**1人ひとりの人生そのもので、どのような自分でありたいかを考えること**だと捉えられるようになりました。

■「キャリア」の捉え方が変化したことによる気づき

これまでも、メンバーに対して業務に限らず「何を実現したいのか」を問いかけることを大切にしてきました。**自身の人生を通じて目指すものが見えれば、もっと仕事は楽しく、やりがいが大きくなる**からです。これも「キャリア自律」に繋がる取り組みのひとつだと気づくことができました。今後も、メンバーのありたい姿に焦点をあてて対話することを大切にしたいです。



コンサルティング職（20代）2021年にKUMONへ新卒入社
2024年度のキャリア関連研修に、研修生として参加

■研修を通じた「自分のあり方に対する考え方」の変化

部署を越えて様々な社員と出会い、対話することで、社内キャリアの多様性に気づきました。以前は「こうあらねばならない」という意識が強かったですが、視野が広がり、「**自分がどうしたいか**」に**フォーカスできる**ようになりました。自分のありたい姿のイメージが膨らんだことで、**目の前の業務との向き合い方も変化**しました。

■考え方の変化に繋がった経験や取り組み

自分のありたい姿や進む道は、人から言われて見えてくるものではなく、自分で描くものだと思います。色んな人のあり方や仕事の仕方を知ることはもちろん、**自分の考えを言語化し、内省を深め続けることも大切**だと学びました。今後も、自ら様々な人と出会いながら、自分のありたい姿を描き続けたいです。